

2000万人「戦争法の廃止を求める統一署名」の成功をめざす

署名推進会議

<次第>

1. 開会
2. 代表あいさつ
2. 署名推進について
3. 当面の活動予定
4. 閉会

2000万人統一署名の推進について

<情勢>

① 法案が強行採決された9月19日以降も全国でたたかいの流れは止まらず、むしろ広がりをみせています。

11月に入ってからの1ヶ月でも、「学者の会」によるSEALDsと共同した各大学でのシンポジウムや街頭宣伝、沖縄での新基地建設反対運動に呼応した集会(SEALDsの緊急行動、29日の日比谷野音4500人集会)、全国各地での市民団体、九条の会、ママの会による講演会(松本市では27日の九条連絡会の小林節講演会)やデモ、スタンディング宣伝どの活動が活発に行われてきました。

② いくつかの県・地域(鳥根・鳥取参議院合区など)では超党派での統一候補の模索があり、SEALDsも「来夏の参院選に野党の統一候補が出るなら応援する。野党は政策や立場の違いを超えて選挙協力をしてほしい」(10.28)との態度を表明しています。

政党では共産党が、「戦争法反対の一点での選挙協力と国民連合政府の樹立」をよびかけ、これには政党の枠をこえて共感する動きも広がりつつあります(AERA 12.7号)。

長野県でも、「希望・長野」が「オール信州」での候補者で参議院を勝利しようと呼びかけて署名活動を展開しています。

一方サンケイ新聞のように「自民単独過半数も」(4.28)「野党共闘が実現すれば一部地域で善戦する可能性は高まるが、効果は限定的」(10.6)と世論誘導する論調を流していることも無視できません。

③ 安倍内閣はフランス・パリでのテロ事件についてアメリカと共同歩調をとり、さらに、政府・自民党は国内テロ対策を絶好のチャンスとばかり「共謀罪」の導入を検討していると報道されています。

さらに、国内では、政府・自公両党は臨時国会も開かず、沖縄宮古・石垣市への自衛

隊配備を画策、辺野古新基地建設の強行、オスプレイの横田基地への配備と全国での演習、日米首脳会談での南シナ海への自衛隊派遣の検討表明などを行い、戦争法の実質づくりをすすめています。

また、改憲右翼団体「美しい日本の憲法をつくる国民の会」は、改憲での国民投票で過半数を得るとして「1,000万人賛同者(ネットワーク)」づくりをすすめていることに注意が必要です。

<署名の意義>

1. 戦争法の廃止と立憲主義の確立を求める多数の町民世論を結集するとりくみです。
2. 参議院選挙での野党統一候補と戦争法廃止の政府を求める声を地域からくみ上げるとりくみです。

<署名のとりくみ>

1. 目標 池田町で2000筆以上の署名を集めます。
 - ・署名の意義が理解できる年齢の方なら、未成年者でも外国籍の方でも構いません。
 - ・期限は2016年4月25日 年内に500筆をめざします。

2. 体制

<署名推進委員会>

推進委員長 松澤 周三

実務担当責任者 村端 浩 副責任者 曾根原 鈴美

推進委員 町民の会呼びかけ人・事務局、および町内の政党・労組・民主団体や主な地域担当者など計10名程度(事務局で要請します)

町内の団体や個人に推進者になってもらえるように、ひろくよびかけます。

3. 署名の集約

- ① 団体は独自の集約体制をとって、署名到達数を事務局まで知らせてください。
- ② 個人については、一定程度集まったら事務局に署名簿を提出してください。
- ③ 当面、毎週月曜日を集約日とします。集約結果はホームページ上でお知らせします。
- ④ 町民のみなさんからの意見や声を事務局までお寄せ下さい。

4. いっせい行動

当面は団体・個人でのとりくみとしますが、時期を見て地域を決め、いっせい署名活動を行います(詳細は推進委員会で協議します)。

5. ニュースの発行とホームページ、SNSの活用

- ① 随時ニュースを発行し、経験交流します。
- ② ホームページ上でも経過をお知らせし、情報を共有します。

また、SNSで他の団体や個人との交流、情報の共有と拡散につとめます。

ホームページ：<http://nowar-ikeda.wix.com/news>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/sensouhouhantaiikeda/>

ツイッター：https://twitter.com/No_War_Ikeda